

# 平成29年度 第1回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書

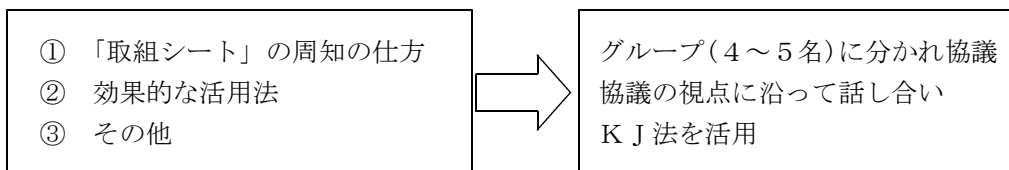
(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成29年6月16日(金) 時間: 13時30分~15時30分
2 会場	南会津合同庁舎 2階会議室
3 出席者数	総出席者数 計 23名 (男性11名 女性12名)
<p>(内訳) 家庭教育支援南会津の会、絆づくりの会、地域子育てサポートチーム、学識経験者                  郡PTA連合会、郡小学校長会、南会津町民生委員、南会津町放課後子ども教室、伊南保育所、                  下郷町学校図書館ボランティア、下郷町学校支援員、NPO法人ただみコミュニティクラブ、                  企業代表、南会津町教育委員会社会教育担当者、下郷町教育委員会社会教育担当者、                  檜枝岐村社会教育担当者、只見町社会教育担当者、                  南会津教育事務所(所長、次長兼社会教育課長、主任社教主事、社教主事兼指導主事)</p>	
4 会議概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業報告と情報提供</li> <li>○ グループ協議</li> <li>○ 家庭教育の課題解決に向けた支援方法についての協議</li> </ul>
5 会議内容	<p>(1) 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会のことば</li> <li>○ 主催者あいさつ【 所長 佐藤 則之 】</li> <li>○ 出席者自己紹介</li> <li>○ 日程説明・諸連絡</li> </ul> <p>(2) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業報告と情報提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島県地域家庭教育推進会議から【 主任社教主事 我妻 雄比古 】</li> <li>・ 社会教育事業(家庭教育)について【 社教主事兼指導主事 猪股 克亘 】</li> <li>・ 情報モラル教育について【 指導主事 伊藤 武徳 】</li> </ul> </li> <li>○ グループ協議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議の進め方について</li> <li>・ 協議</li> </ul> </li> </ul>



【 テーマ: 「取組シート」の周知と効果的な活用について 】

<進め方>



<協議の結果>

- ① 「取組シート」の周知の仕方
  - ・ 学校の参観日、地区懇談会、おたより等を活用
  - ・ 家庭教育講話時に配布
  - ・ 教育委員会や役場にメールや文書を送付
  - ・ 街頭に掲示
  - ・ 児童クラブやスポ少団体へも周知
  - ・ 何かの文書に便乗させて配布



② 効果的な活用法

- ・ 3つのテーマを一つずつに分け、その際、該当の団体へ依頼
- ・ 親子のグループワークや子ども同士のグループワーク
- ・ 各テーマを毎年1枚ずつ各校で実施

③ その他

- ・ 3つの用紙にさらに特色を持たせる必要がある
- ・ ポイントをさらに短くわかりやすく
- ・ サイズを一回り小さく
- ・ ラミネートをしてリングに綴じる



○ 各グループからの発表

- ・ A～Dグループの代表による発表

○ まとめ

(3) 閉会式

○ 諸連絡

- ・ 「郡優秀ふれあい訓作品」選考委員の依頼

○ 閉会のことば

- ・ 御礼【次長兼社会教育課長 高橋 正敏】



## 6 成果・課題

### 1 成果

- 福島県地域家庭教育推進協議会についての報告をしたことで、県が抱える課題も域内の課題も同一であることを再認識していただくことができた。
- 域内町村教育委員会の方をはじめ家庭教育ブロック会議の参加者に、家庭教育関係事業について説明をし、理解していただくことができた。
- 親子の学び応援講座実施日をブロック会議の参加者に呼びかけ、参加を促すことができた。
- 情報モラル教育についての情報提供を指導主事より話をしてもらったことで、参加者の意識を高めることができた。
- 1グループ4、5人でのKJ法を用いたことで、個人の発言回数が多くなり、参加者がそれぞれ自分の考えを述べることができた。
- 子育てや家庭教育支援、青少年育成、企業代表の方々から様々な意見を聞くことができ、大変有意義な会議であった。
- 昨年度作成した「取組シート」のさらなる周知拡大と有効な活用法について素晴らしい意見が出されたので、それらを参考に実践していきたい。
- ブロック会議の構成員を半分入れ替えたことで、より貴重な意見を出していただくことができた。

### 2 課題

- 「取組シート」の完成度をより高める必要がある。各団体にデータを送付し、実態に応じて修正をいただくことは可能とするが、事前に修正をかける必要がある箇所については、訂正のうえ送付するようにしたい。
- ブロック会議での取り組み自体を域内にさらに周知していく必要がある。